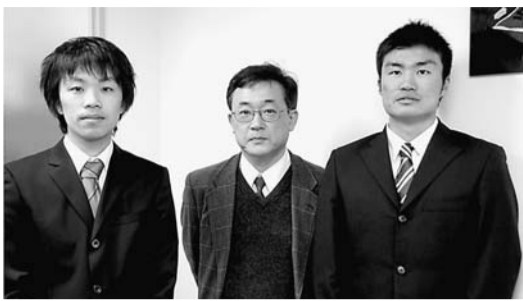


コンテスト・奨励・奨学生制度・国際交流プログラム・資格取得 充実のサポートシステムで可能性を広げよう

受験生特集 5~9面

専修大学には「社会知性の開発」を実践的にサポートするシステムがそろっている。さまざまな支援、機会を活用して自分の可能性を広げよう。



▲ 左から花巻さん、阿藤 学生部次長、原田さん

花巻 未生さん (経済4)
全日本学生本因坊決定戦優勝
原田 雄紀さん (商4)
トライアスロン世界選手権出場

今年度は学生4大棋戦の一つである全日本の学生本因坊決定戦で優勝、学生囲碁名人戦でベスト4の成績を収め、囲碁部のOB会設立や自己研鑽につとめた花巻未生さん(経済4)と3年連続)と、トライアスロン競技に4年間打ち込み、日本

「後期」海外研修・国際交流奨励生に徳満さん
学生部の「2009年度後期海外研修・国際交流奨励生制度」による奨励生に徳満翔平さん(経済2)が決まった。調査を行う。

自己啓発奨学生に2人

◆懸賞論文
【優秀賞】賞金5万円
▽菅原章太(経済4)「若年失業の要因分析―UV分析によるミスマッチ要因の特定―」
▽加藤寛敬(経済3)「現代コミュニケーションの表情―SNSと人間関係の希薄化との関連性―」
▽福田洋佑(文3)「健常者中心社会が生み出す社会障

入賞者と作品名 (敬称略)

壁―共生への現状考察とその課題―
【佳作】賞金2万円
▽竹田綱志(経済4)「始まった医療崩壊―」
▽安藤徳明(経済3)「医療費抑制を見直す企業家―NPOに代わる社会的主体―」
▽高松篤嗣(商1)「外食店舗における最初の4

◆文芸作品

【鳳賞】賞金20万円
▽奈佐恵美子(文3)「分間『ご案内』の研究」
【佳作】賞金2万円
▽我那覇生泰(法4)「ラストシーン」
▽富樫綾子(文3)「Next's top」
▽有賀拓郎(文3)「青いポート」
▽前田貴俊(文2)「おれはやっぱりおれだった」
▽岡登陽平(ネット情報3)「今のままなら夢のままHow To Season A Life」



▲ 嶋根学生部長から表彰を受ける奈佐さん

兄妹の再会と再生 「百舌鳥の夜、揚羽の声」

学生部の「2009年度懸賞論文・文芸作品コンクール」の入賞者が決まり12月22日、生田キャンパスで表彰式が行われた。入賞者には嶋根克己学生部長から賞状と賞金が贈られた。
今年度の応募件数と入賞作品件数は懸賞論文が21件で最優秀賞・該当者なし、優秀賞3件、佳作5件。文芸作品が27件で最優秀賞(鳳賞)1件、優秀賞3件、佳作5件。鳳賞を受賞した奈佐恵美子さんの受賞作品は「百舌鳥の夜、揚羽の声」。

懸賞論文・文芸作品コンクール

文芸・鳳賞に奈佐恵美子さん(文3)

小林教授の「文芸創作」を履修。受賞作は、ある事件をきっかけに、しばらく別れて暮らしてきた兄妹の再会と再生を、みずみずしく表現した。奈佐さんは「まさかの受賞で感激です。小林先生からの講評はありがたく、「イメージばかりが先行している。もっと綿密な日本語の勉強を」との苦言もいただきました。これからも、さまざまなジャンルのテーマに挑戦し、書き続けていこうと思います」と喜びを語った。



腰本 博美さん (経済1)

「好奇心が旺盛なんで、最初は何も話さず、不安になりに満ちた先輩の言葉が、ベースになりましう心かけ、2日目の夜は、グループを越えて、多くの先輩と話す機会を得ました。いろいろな考えや見方や資格取得があるのだと刺激を受け、県人会『成長できた』という実感がありました。とても濃いが、私以外は全員留学経験があり、レベルが高いので、勉強になります。ア

自信に満ちた先輩の言葉が、ベースに

「好奇心が旺盛なんで、最初は何も話さず、不安になりに満ちた先輩の言葉が、ベースになりましう心かけ、2日目の夜は、グループを越えて、多くの先輩と話す機会を得ました。いろいろな考えや見方や資格取得があるのだと刺激を受け、県人会『成長できた』という実感がありました。とても濃いが、私以外は全員留学経験があり、レベルが高いので、勉強になります。ア



専大ライフ10ヵ月
学生部では、目的意識をもって充実した学生生活を送っている先輩たちとディスカッションしたり、グループワークを行ったりすることで、自分なりの「専大生像」を描いてもらうことを目的に、入学式前に「新入生歓迎セミナー」(以下、新歓セミナー)を実施している。

新入生歓迎セミナーに参加した学生たちの専大ライフ10ヵ月

学生部では、目的意識をもって充実した学生生活を送っている先輩たちとディスカッションしたり、グループワークを行ったりすることで、自分なりの「専大生像」を描いてもらうことを目的に、入学式前に「新入生歓迎セミナー」(以下、新歓セミナー)を実施している。



清水 紀幸さん (商1)

「富士急ハイランド」がグループ内では意見が出な魅力で申し込んだという清水さん。「ただ楽しめばいいと思っていましたが、『富士急ハイランド改革プロジェクト』では、ターゲットの議論の進め方を理解することができました。多くのことに合うと感じて受験した」

やりたいことはすべてあきらめず

「富士急ハイランド」がグループ内では意見が出な魅力で申し込んだという清水さん。「ただ楽しめばいいと思っていましたが、『富士急ハイランド改革プロジェクト』では、ターゲットの議論の進め方を理解することができました。多くのことに合うと感じて受験した」